

令和5年度第5回社会教育委員の会議

令和5年10月6日（金）

午前10時00分開会

開催日時	令和5年10月6日	開会10時00分 閉会11時00分	
場 所	小金井市役所西庁舎2階 第五会議室		
出席委員	議 長 笹井 宏益 副 議 長 金澤 大恵 委 員 伊藤 安寿華 委 員 榎本 敏 委 員 北澤 隆司	委 員 國分 ひろみ 委 員 森本 榮子 委 員 小林 浩 委 員 坂野 勝一	
説明のため出席した者の職氏名	教育長 大熊 雅士 生涯学習部長 梅原 啓太郎 生涯学習課長 三浦 真	図書館長 内田 雄介 公民館長 鈴木 遵矢	
事務局	生涯学習係長 倉澤 淳子		
傍聴者人数	0人		

日程	議 題	
第1	協 議 事 項	<ul style="list-style-type: none"> (1) 正副議長の互選について (2) 社会教育委員会の会議について (3) 図書館協議会への出向委員の選任について (4) 放課後子どもプラン運営委員への出向委員の選任について (5) 東京都市町村会教育連絡協議会第5ブロック研修会について (6) 全国大会等に参加する団体への補助金交付について (7) 第31期小金井市社会教育委員の会議のまとめ (8) 会議録の承認について (9) 会議の日程について (10) その他
第2	報 告 事 項	<ul style="list-style-type: none"> (1) 第37期公民館運営審議会委員の委嘱について (2) その他

三浦生涯学習課長 皆さん、おはようございます。定刻でございますので、会議を始めさせていただきますと思います。

まず、私は生涯学習課長の三浦と申します。当座の間、司会進行を務めさせていただきますので、どうぞよろしく願いいたします。この後ですが、申し訳ありません、着座のまま失礼させていただきます。

本日は初めての委員会ということでございますので、セレモニー的な議題が多くございますけども、1時間ないし1時間半ぐらいで終わればなと思っております。どうかよろしく願いいたします。

本日、黒木委員につきましては、ほかの御予定もございませうこと、國分委員からも、所用のため、11時頃をめぐりに中座させていただきますというお話がございましたので、あらかじめ皆様に御報告を申し上げます。

それでは初めに、辞令の交付から進めさせていただきますと思います。教育長が順番に皆様のお席に伺ってまいりますので、恐れ入りますが、順番になりましたら、御起立いただいて、辞令をお受け取りください。

では、教育長、お願いいたします。

大熊教育長 委嘱状。伊藤安寿華様。小金井市社会教育委員を委嘱する。期間、令和5年9月9日から令和7年9月8日まで。令和5年9月8日、小金井市教育委員会。

よろしく願いいたします。

伊藤委員 よろしく願いいたします。(拍手)

大熊教育長 委嘱状。榎本敏様。以下同文でございます。よろしく願いいたします。

榎本委員 よろしく願いいたします。(拍手)

大熊教育長 委嘱状。金澤大恵様。以下同文でございます。

よろしくお願いいたします。

金澤委員 よろしくお願いいたします。(拍手)

大熊教育長 委嘱状。北澤隆司様。よろしくお願いいたします。

北澤委員 よろしくお願いいたします。(拍手)

大熊教育長 委嘱状。國分ひろみ様。よろしくお願いいたします。

國分委員 よろしくお願いいたします。(拍手)

大熊教育長 委嘱状。小林浩様。よろしくお願いいたします。

小林委員 よろしくお願いいたします。(拍手)

大熊教育長 委嘱状。坂野勝一様。よろしくお願いいたします。

坂野委員 よろしくお願いいたします。(拍手)

大熊教育長 委嘱状。笹井宏益様。よろしくお願いいたします。

笹井委員 よろしくお願いいたします。(拍手)

大熊教育長 委嘱状。森本榮子様。よろしくお願いいたします。

森本委員 よろしくお願いいたします。(拍手)

三浦生涯学習課長 ありがとうございました。

冒頭、私のほうで、黒木委員は中座と申し上げましたが、本日は御欠席でございます。訂正させていただきます。

それでは、教育長から一言御挨拶を申し上げます。よろしくお願いいたします。

大熊教育長 本日から小金井市の社会教育委員をお引き受けいただきまして、

誠にありがとうございます。

社会教育委員の職責は、小金井市の社会教育を進める上で最も重要な会議と私どもは位置づけております。どうぞ、2年間になりますが、よろしく願いいたします。

その会議を始めるに当たって、一言だけ、目標というか、こんなことを考えているんだということを共有させていただきたいと思っております。

混迷する社会の中で、これからの社会教育をしっかり進めていくことが本当に大事であると考えておりますが、何を目標にして進めていくかがまず大事かと思っております。皆さんに検討していただきたいことなんですけれども、私自身は、市民一人一人の100年後のウェルビーイングを目標にして活動をしていただきたいと思っております。混迷する社会の中で、今の幸せではなくて100年後の幸せを考えて、今何をしなきゃいけないかを考えていかなければいけないと思うんです。人生100年時代にもじったわけではないんですけれども、高齢化が進むことや、少子化が進むことや、それから昔は退職したらのんびり過ごすことにはなったと思うんですけど、最近は第2の人生と本当に言われていて、そこを充実することが、その人の本当の幸せにつながることも考えられることです。そうすると、今の幸せではなくて、やはり、これからずっと永遠にという意味で、市民一人一人のウェルビーイングを担保するためには何が必要なのかという点を常に考えていただきたいと思っております。

そのためには、100年後なんですけれども、現在の市民を真ん中にして、これまでの小金井の社会教育の伝統を守るだけではなく、新しい社会教育を進めるための羅針盤になっていただきたいと考えます。その際、このやり方は古い、これを新しくしないと、という羅針盤ではなく、そのようなことを言って非難をする社会教育委員ではなく、現状を非難するのではなく、共に語り、共に動く。とにかく一緒に歩む社会教育委員になってもらいたいと思っております。なぜかという、これまで伝統を守りながら、長い間やってきた社会教育はしっかりと小金井に根付いております。しかし、一つ例を挙げますと、子供一人一人の人権を守るために子供の声を聞くことも非常に大事に言われてきました。しかしながら、今行われている子供に対しての様々な活動は子供を真ん中に置いているのでしょうか。大人が全部準備して、準備した運動会に子供たちが遊びに来る。こ

れで子供たちが、未来の子供たちが、そういうことだけで生きていけるかどうか。子供も一緒になって考えることが必要だと思うんです。どんな運動会にしたいのか。答えのない問いに子供たちをどっぷり浸からせることが、これから大事になってくるんだと思います。しかし、しかしですよ、これから子供を真ん中に置いて子供も参画させるんだと言っただけでは、今まで伝統を持っていた人は混乱するだけで、そんなことを言うんだったら、あんた、やりなよと言われておしまいだと思います。だから、そうではなくて、これからの子供、つまり100年後の市民一人一人の幸せを考えたとき、どういうふうに子供と関わったらいいかを共に語り、共に動いていただきたいんです。そうでなかったら、この町は変わらないと思っています。

それ以外にも、今、子供の話をしましたけれど、生涯学習はどうでしょうか。生涯学習をやって、公民館活動は、この近隣市にしても最も豊かな活動が行われています。だけど、特定の人たちがその場所を占有しているだけで、多くの人たちに来てもらう扉が開いていない。そうすると、その人たちがどんだん年を取って行って、最後は2人だけで将棋をやっている。その人が子供に教えたらどのぐらいいいのか。若い人にその力を発揮してあげたらどのぐらいいいのか。そういうところを少しずつ開いて行ってあげる。でも、急は駄目だと思うんですけど、もったいないと思うんです。そういうことをどうやったら、より多くの人たちが今ある小金井の豊かな社会教育に触れて、よりよいウェルビーイングですね。継続的な幸せと言ったらいいでしょうか。何々に優勝して、わーいということではなくて、ずうっと続く幸せ。そういうことを目指して活動を進められるように、私も一緒に語り、共に動く一員として関わっていきたいと思いますので、皆さんも、そのことについて議論して、一緒に歩んでいただきたいと。そんなふうに思いますので、どうかよろしく願いいたします。以上です。(拍手)

三浦生涯学習課長 ありがとうございます。

大変申し訳ありません。本日、教育長は他の公務日程がございますので、ここで失礼をさせていただきます。

大熊教育長 これから教育委員の研修会があって、そちらに向かわなければい

けないんです。すみません。また、よろしく願いいたします。

委員一同 よろしく願いいたします。

三浦生涯学習課長 それでは引き続き、事務局の自己紹介をさせていただきたいと思
います。

初めに生涯学習部長の梅原でございます。

梅原生涯学習部長 生涯学習部長の梅原です。よろしく願いいたします。

三浦生涯学習課長 続きまして、図書館長の内田でございます。

内田図書館長 図書館長の内田です。よろしく願いします。

三浦生涯学習課長 それから、公民館長の鈴木でございます。

鈴木公民館長 公民館長の鈴木です。よろしく願いいたします。

三浦生涯学習課長 事務局を担当します倉澤でございます。

倉澤生涯学習係長 生涯学習係長の倉澤と申します。よろしく願いいたします。

三浦生涯学習課長 よろしく願いをいたします。

それでは、いきなりなんですけども、伊藤委員から自己紹介をお
願いしていいですか。

伊藤委員 はい。

三浦生涯学習課長 では、伊藤委員から北澤委員、國分委員から森本委員という順
番でお願いしたいと思しますので、どうぞよろしく願いします。

伊藤委員 伊藤安寿華と申します。今、小金井二中のPTAの役員をやっ
ております。よろしく願いいたします。(拍手)

榎本委員 榎本といいます。今、スポーツ少年団の本部長、それから体協も。

これは体育協会から派遣されてきました。よろしくお願ひします。
(拍手)

金澤委員 金澤大恵と申します。小金井市文化連盟から推薦で参りました。
2期目となりますが、どうぞ、よろしくお願ひいたします。(拍手)

北澤委員 北澤隆司です。小金井市の登録手話通訳者連絡会から推薦されて、
今期2期目となります。よろしくお願ひいたします。(拍手)

國分委員 國分ひろみです。小金井稲門会から来ました。ここは早稲田大学の
OB会の組織で、小金井地区の会です。それで当会は63年、組織して
からたっておりまして、50周年のときに、地域の方と関わる部分とい
うか、そういうのをやるべきだということで、公開事業ということで
立ち上げたのが市民の公開講座と美術作品展です。継続して今、十
数回やっております、そうした切り口しか、今のところはありませ
んが、社会教育に関する行政の活動、目標などについて学ばせてい
ただき、視野を広げていきたいと思っております。よろしくお願ひ
します。(拍手)

小林委員 小林です。よろしくお願ひします。今、会社員をまだやっ
てい
るんですけど、週末におやじの会で、子供たちと大人の方も含めて
多世代交流で水鉄砲合戦をやったり、ちゃんばらをやったりという
のをやりつつ、中学校で放課後カフェというのも立ち上げてやって
おります。あと、市のほうでは健全育成のほうを、ずっと十何年、
PTA会長をやったのがきっかけでやっているぐらいで、今、自分の
テーマとしては、子供たち、特に高学年から中学生と地域の大人を
顔見知りにすることを目標にしています。今度は三小の体育館をお
借りして、何もしない合宿というのをやる予定で、そのときに、お
じさんの失敗談を聞いてくれというコーナーをつくります。そうい
うことをやっています。ただ、中学生が今、大人と出会ってないの
で、習い事と自分の親、学校の先生ぐらいなんですね。地域の大人
と会って、人生のロールモデルをもうちょっと探るみたいなことが
できないかなということは今、テーマでやっています。

すみません。長くなりました、よろしくお願ひします。(拍手)

坂野委員 坂野でございます。よろしくお願いいたします。この会議では社会で新しく起きているいろいろな課題・問題について、様々な市民生活の観点から話し合うことを期待し、楽しみにしております。また、私はこれまでに小金井市の4つの会合で委員として参加してきました。図書館協議会、市民交流センター運営協議会、新福祉会館管理運営計画策定委員会、それから新庁舎の設計に係るかがねいミーティングの4会合ですが、合わせて延べ約10年間、市民の実際生活の環境整備あるいは環境醸成の論点を検討してきましたので、社会教育に関連する範囲で、それらを参考にしたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。（拍手）

笹井委員 玉川大学の笹井といいます。名簿上、学校法人玉川学園というんですけども、学校法人の中の玉川大学に勤めています。今、特任教授という役職なんですけど、その前は実は文科省附属の研究所で、ずっと生涯学習、社会教育を勉強してきました。ですので、あまり現場に行って実践するよりは、むしろ全国、どんな感じの活動があって、これが大事なんだよなみたいなことを勉強してきました。まだまだなんですけど、本当に微力ながらですけども、小金井の社会教育に御協力できればと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。（拍手）

森本委員 笹井さんが御起立なさいましたので私も。皆さんに顔を覚えていただきたいと思います。

森本榮子と申します。今期で、こちらに参加させていただいておりまして、3期目でございます。よろしくお願いいたします。（拍手）

三浦生涯学習課長 ありがとうございます。

それでは、議題（1）の「正副議長の互選について」になりますが、ここから先は生涯学習部長に議事を進めていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

梅原生涯学習部長 それでは、議長が選出されるまでの間、私が仮の議長を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

議事に入ります前に、議事録の作成方法について確認をさせていただきます。市の会議につきましては、小金井市市民参加条例第6

条の規程により、原則公開となっております。また条例施行規則第5条には、会議録の作成方法として、全文記録、発言者の発言内容ごとの要点記録、会議内容の要点記録の3つの中から選択することとされております。本社会教育委員の会議につきましては、これまで全文記録で会議録を作成しております。事務局といたしましては、引き続き全文記録で作成をしたいと考えておりますが、御異議はございませんでしょうか。(拍手)

よろしいでしょうか。ありがとうございます。それでは御異議がないということでございますので、そのようにさせていただきます。

なお、議事録作成の都合上、御発言の前には、お名前をおっしゃっていただいてから発言をお願いいたします。

それでは議事に移らせていただきます。初めに議長の互選を行います。議長につきましては、社会教育委員の会議規則第2条の規定により、委員の互選によって定めるものとされております。指名推選の方法で行いたいと思っておりますが、これに御異議はございませんか。(異議なしの声。拍手)

よろしいでしょうか。御異議なしと認めます。

それでは、どなたかから御推薦いただけますでしょうか。

金澤委員、よろしく願いいたします。

金澤委員 金澤です。議長に笹井宏益委員を推薦させていただきたいと思っておりますが、皆様、いかがでしょうか。

梅原生涯学習部長 ただいま、金澤委員から笹井委員を御推薦いただきました。これに御異議はございませんでしょうか。

(拍手)

梅原生涯学習部長 それでは、笹井委員に議長をお願いいたしまして、これより先の議事進行につきましては笹井委員をお願いしたいと思います。

笹井委員、議長席へお願いいたします。

それでは、私の職務は以上とさせていただきます。ありがとうございました。

笹井議長 ただいま議長を拝命いたしました笹井です。改めてよろしくお願い申し上げます。

では早速ですけども、副議長さんの互選を行いたいと思っております。

副議長についても、社会教育委員の会議規則第2条の規定により、委員の互選となっております。どなたか立候補あるいは御推薦はありますでしょうか。ありましたら、ぜひお願いしたいと思います。

北澤委員 北澤です。前期からの継続ということで、私がやりたいところではあるんですけども、ここは金澤委員を推薦したいと思います。

笹井議長 ただいま北澤議員から金澤委員を御推薦いただきました。これに御異議はございませんでしょうか。(異議なしの声。拍手)
よろしいですか。

小林委員 ジェンダー的な観点からもいいんじゃないかと思います。(拍手)

笹井議長 ありがとうございます。
それでは、金澤委員、副議長席に御移動をお願いいたします。
それでは、金澤委員、一言お願いします。

金澤副議長 改めまして、金澤と申します。このような形で北澤委員に御推薦いただき、そして委員の皆様にも拍手をいただきまして、ありがとうございます。1年間、一生懸命頑張りますので、どうぞよろしくをお願いいたします。(拍手)

笹井議長 ありがとうございます。
それでは議事次第に沿って進めていきたいと思えます。
議題(2)で「社会教育委員の会議について」と書いてありますが、事務局から御説明をお願いいたします。

倉澤生涯学習係長 事務局より御説明いたします。

議題(2)に入ります前に、まず配付資料を確認させていただきたいと思えます。配付資料の1番目が、ホチキス留めになっておりますが、本日の会議次第。その後、資料1から10まで綴じてございます。続きまして、委員の皆様だけに配付しているものとしまして「社会教育情報」と「月刊こうみんかん」、あと新規の委員の皆様へ第4次生涯学習推進計画の冊子をお配りしてございます。不足のある方はいらっしゃいますでしょうか。

では続いて、資料2の御説明に入ります。2ページめくっていただきまして、資料2を御覧ください。こちらで小金井市社会教育委員の会議について簡単に御説明させていただきます。

「1 社会教育委員とは」ということで、先ほど教育長よりも説明をしていただきましたので簡単に御案内いたします。こちらは文部科学省のホームページより抜粋させていただいております。社会教育委員は社会教育法に規定されておまして、社会教育に関する計画の立案やその他研究を行うなどによって、社会教育に関して教育委員会に助言をする役割を果たしています。皆様、地域において社会教育に優れた知見を有する皆様の知識を社会教育行政に反映させていただくことが期待されているとなっておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

続きまして2番でございます。皆様の御身分は非常勤の特別職の公務員という位置づけになります。社会教育委員の本日のような会議の出席に対しまして日額1万円、こちらは源泉徴収を差し引いた金額を口座にお振り込みいたします。公務で出張等に行っていた場合は、こちらの交通費も同じく口座振込みでお支払いいたします。続きまして、社会教育委員は原則3期まで務めることができます。1期当たり2年間となっておりますので、最長で6年間、務めることができるとなっております。小金井市が持っている審議会等の委員は原則2つまで兼ねることができとなっております。

続きまして3番目です。任期中の主な活動内容としましては、こういった社会教育委員の皆様が集まっていただく会議が年8回、こちらは基本、毎月1回なのですが、6月、9月、12月、3月は市議会が開催されるため、社会教育委員の会議を行いません。その年8回の会議のうち、1度はマイクロバス等を借り上げまして、他市の社会教育施設等の見学に行くことがございます。もう一回は、後ほど簡単に御説明いたしますが、公民館運営審議会委員、図書館協議会委員の方々と合同で研修会を予定しております。こちらを含んで年8回となっております。

続きまして②です。後ほど議題にも挙げさせていただいておりますが、図書館協議会と放課後子どもプラン運営委員会に社会教育委員各1名に出向して出席していただいております。

③ですが、東京都市町村社会教育委員連絡協議会というものが上部の組織でございまして、名称が長いため今後、都市社連協と呼ば

させていただきます。こちらの各種研修会、総会等に参加していただいております。今年度の開催案内が11月のブロック研修会が来ております。後ほど出席の確認等をさせていただきたいと思っております。

④で、さらに上部の組織で、関東甲信越静の研究大会への参加がございます。こちらは予算の関係上、毎年2名分の旅費等を計上しております。令和5年度は栃木大会となっております。参加回数の少ない方を優先して参加委員を決定させていただいております。

1枚めくっていただきまして、4番目です。小金井市社会教育委員の会議と関係のある団体ということで、先ほども御説明した都市社連協ですね。多摩地区の26市と3町が会員となって組織しております社会教育委員の協議会です。各種研修会等をしております。構成自治体が多いため、ブロックごとに分かれております。小金井市は第5ブロックに所属しております。本市と武蔵野市、三鷹市、府中市、調布市、狛江市、こちらで第5ブロックを構成しております。そしてさらに小金井市は本年度と令和6年度は、全体の都市社連協の副会長市に当たっております。2年間、副会長市を務めた後の令和7年度は会長市と決まっておりますので、委員の皆様にはいろいろ御協力いただくことがあると思いますが、よろしく願いいたします。

続きまして関係のある団体ということで、先ほど申しましたが、同じく生涯学習に関わる協議会ですね。図書館協議会と公民館運営審議会は今後、3者合同研修会等で交流もあるかと思っております。年1回開催する会は持ち回り制となっております。ちょうど今年度は社会教育委員の会議、こちらが研修会の担当となっておりますので、またテーマ等について、こちらの会議で議題に挙げさせていただきたいと思っております。

その後は、これまでの答申・提言一覧と関係する関係法令等をまとめておりますので、お時間のあるときにお読みいただければと思います。

議題（2）の説明については以上です。

笹井議長

ありがとうございました。ただいまの御説明について、もし質問等がございましたら、お願いします。

我々の職務や役割について分かりやすく説明をいただいたと思

いますが、よろしいでしょうか。どうぞ。

小林委員 小林です。3者合同研修会なんですけど、これは何か予算とか、その辺は。研修するに当たって例えば講師を呼ぶとか。

倉澤生涯学習係長 申し訳ございません。講師の予算はついてございません。

小林委員 分かりました。了解です。

笹井議長 ほかにございますか。よろしいでしょうか。もし後で気がついたときにはその都度、また質問していただければと思います。よろしくをお願いします。

それでは次の議題(3)に移ります。「図書館協議会への出向委員の選任について」ということで、まず事務局から御説明をお願いいたします。

三浦生涯学習課長 生涯学習課長です。それでは、お手元の資料3を御覧ください。

第18期小金井市図書館協議会委員の推薦についての依頼が来てございます。任期につきましては令和5年11月1日から令和7年10月31日までの2年間となってございまして、年間4回の会議を予定してございます。

社会教育委員さんと兼ねていただくことになりますので、先ほど御説明がありましたが、既に社会教育委員以外の会議で審議会等の委員さんをやられている場合は、委員さんとしては、なかなかないところなんですけど、本日、図書館協議会についても参加してみたいという御要望というか、立候補がありましたら、お願いをいたしたいと思いますが、皆様、いかがでしょうか。

笹井議長 ということですが、どなたか、やってみたいという方がいらっしゃいましたら。

小林委員 すみません。できましたら、放課後子どもプランの回数が何回かとか、両方を見た上でないと検討しづらいのではないかと思うんですけど、いかがでしょうか。

三浦生涯学習課長 分かりました。では、議長、すみません。4番についても次第のほうで進めさせていただいてよろしいですか。

笹井議長 お願いいたします。

三浦生涯学習課長 それでは、放課後子どもプランの委員さんについてでございます。次第の(4)になりますが、こちらのほうも推薦依頼が来てございます。資料4を御覧ください。

小金井市放課後子どもプラン運営委員会設置要綱の第3条において、社会教育委員を委員とすると定めてございます。設置の目的及び所掌事項につきましては要綱を後ほど御覧いただければと思います。任期につきましては令和6年3月末までとなっておりまして、今年度につきましては年2回程度の会議を予定してございます。こちら社会教育委員と兼ねていただくこととなりますので、既にほかの委員会で審議会等の委員をなされている場合は、委員としてはできませんので、御了解いただければと思います。

図書館協議会員、それから放課後子どもプラン運営委員会委員につきまして説明させていただきました。もしこの場で、やってみたいという方がいらっしゃれば、立候補というか、挙手をお願いできればと思います。

笹井議長 ということですが、いかがでしょうか。

小林委員 伊藤さんがもしやらなければ、僕は放課後をやってみたいかと思っているんですけど。

伊藤委員 私は他の委員をお受けしておりますので、できません。

小林委員 分かりました。では、放課後を希望します。ほかにもいらっしゃったらお譲りしますけど。

笹井議長 では、放課後は小林委員だと思いますが、ほかにどなたかご希望は。

三浦生涯学習課長 ほかの委員は兼ねていませんか。

小林委員 児童館はもうクビになっているはずなので。児童館はたしか終わっているはずだと思います。

三浦生涯学習課長 はい。ちょっと確認させていただきます。委員会がダブってもまずいので。

小林委員 たしか終わっているはずだと思います。

笹井議長 ということで、ほかに立候補される方がいらっしゃらなければ。

倉澤生涯学習係長 小林委員は学校運営協議会の委員でいらっしゃると思いますが。

小林委員 あ、すみません。あれも入っちゃうんですか。すみません。じゃ、駄目です。学校運営協議会に。

笹井議長 その委員になっていらっしゃるんですか。

小林委員 はい。中学校とか、三小の。あれも入るんですね。分かりました。じゃ、すみません。ギブアップです。

笹井議長 ありがとうございます。そういうことで、申し訳ありませんが、今回は御遠慮いただきたいと思いますが。

どなたか、希望される、立候補される委員の方がいらっしゃれば。今ここで。いかがですか。

図書館協議会の委員のほうはいかがですか。ちょっと興味があるけどみたいな人がいらっしゃればと思いますが、いかがですか。

なかなかね。いきなり……。

課長、お願いします。

三浦生涯学習課長 議長、すみません。ということで、本日、この委員会も初めてございまして、皆さんも初対面でもあろうかと思っておりますので、なかなか新たな委員をお受けいただくことも、この場では難しいかなと思っております。したがって、よろしければ別途、事務局

で調整させていただいて、各委員さんに御連絡することがあるかもしれないませんが、そんな形で調整させていただいて、結果につきましては、次回の社会教育委員の会議の中で御報告をさせていただきたいと思いますが、そんな形で皆様、いかがでしょうか。議長、よろしいでしょうか。

笹井議長

はい。ということで、よろしくお願ひしたいと思ひます。

それでは続きまして、議題の5番目になります。「東京都市町村社会教育連絡協議会第5ブロック研修会について」ですけど、説明をお願いします。

倉澤生涯学習係長 事務局です。御説明いたします。資料5を御覧ください。

第5ブロックの会長市であります三鷹市の社会教育委員の会議の会長より、研修会についての御案内が来ております。こちらは土曜日の開催となってしまうのですが、日時が令和5年11月11日の土曜日の午後2時から4時30分まで。会場は裏面のとおり、三鷹市の三鷹産業プラザ。テーマ等のご案内のとおりになっております。

現時点で出欠が分かっている方がいたら、本日、出欠を取らせていただきたいと思います。すぐにご予定がわからない方については、後ほど御連絡という形で出欠を取らせていただければと思います。

説明は以上です。

笹井議長

ありがとうございました。

それでは今現在、出席する御予定というか、おつもりだという方はいらっしゃいますか。挙手をお願いしたいと思いますが、いかがですか。

私だけ？ どなたか、ほかにいらっしゃいますか。

伊藤委員

じゃ、私も。

三浦生涯学習課長 ありがとうございます。

國分委員

何人でもいいんですか。

笹井議長 何人でもいいということです。

國分委員 じゃ、私も。

笹井議長 分かりました。國分委員ですね。
よろしいですか。

三浦生涯学習課長 では、現時点では笹井委員と伊藤委員と國分委員ですね。

笹井議長 はい。ということで、よろしく申し上げます。ありがとうございました。

続きまして、議題の6番目、「全国大会等に参加する団体への補助金交付について」ということで、事務局から説明をお願いいたします。

倉澤生涯学習係長 事務局より御説明いたします。資料6を御覧ください。「全国大会参加団体への補助金交付について」というものでございます。

こちらは、小金井野球クラブという団体が8月4日から14日まで行われましたIBA-boys USAセントルイス国際交流大会への出場権を獲得いたしました。このたび、出場した団体から、大会参加に要する費用について補助金交付の申請がございまして、こちらは社会教育法第13条の規程により、地方公共団体が社会教育関係団体に対して補助金を交付しようとする場合は、あらかじめ社会教育委員の会議の意見を聞いて行わなければならないとされていることから、本日、御意見を伺いたく、議題とさせていただいております。

資料の裏面を御覧ください。補助の対象経費につきましては、大会等に参加する旅費、参加費という形になっております。上限が対象経費の2分の1で、金額としては20万円が上限となっております。

資料の目的にございますように、優秀な成績を収めた優れた団体の負担を軽減し、健全な団体を育成し、積極的な活動を支援するために行っているものでして、学校の部活動や、その他、大きな大会に出るときの補助と同様に、学校外で活動している競技団体が全国

大会等の大きな大会に出るときの費用負担を考慮したものでございます。

説明は以上です。

笹井議長 ありがとうございました。これはこういう報告を受けたということですね。

倉澤生涯学習係長 そうです。

笹井議長 分かりました。
今、歴史的な円安で、すごい海外へ行くのも大変だと思うんです。でも、教育的にはとてもいいことだと思うので、ぜひにと思います。ありがとうございました。

倉澤生涯学習係長 では、承認していただいたということで。

笹井議長 あ、承認ということなの。

倉澤生涯学習係長 そうですね。

笹井議長 じゃ、承認していただくことでよろしいですか。

倉澤生涯学習係長 ありがとうございます。

笹井議長 ということで、続きまして、議題（7）に移りたいと思います。
「第31期小金井市社会教育委員の会議のまとめ」についてでございます。事務局から御説明をお願いします。

三浦生涯学習課長 資料7ですね。資料7「第31期小金井市社会教育委員の会議のまとめ」を御覧ください。

こちらは第31期、今回の1期前の会議の方々、正副議長を中心に作成をいただいたものでございます。本来であれば、前期の議長さん、もしくは副議長さんから御説明いただくところでございますが、お二人とも任期満了により、社会教育委員の会議を退任されてございますので、代わりに私から御説明をさせていただきます。

第31期の社会教育委員の会議では、学校と地域が連携した生涯学習事業である地域学校連携活動について中心に話し合いを行ってまいりました。管外視察研修についても、先進的な地域学校協働活動を行っている自治体を中心に視察をしたところでございます。また都市社連協の主催する各種研修会に御参加をいただき、他市の社会教育委員との意見交換を行い、交流を図っていただきました。

最後に「来期の委員の方へ」ということで、皆様宛てに、3点引き継いでいただいた内容を掲載してございますので、お目通しをいただければと思います。

資料7の説明は以上でございます。

笹井議長 ありがとうございます。今の御説明に関連して、第31期の委員だった方で何か補足等がございましたらお願いできればありがたいのですが、いかがでしょうか。前期の委員さんの活動状況ということで。

北澤委員 北澤です。正直、私も1期目で、私自身の考えというところではなかなか出すことができずに、先輩方の敷いたところで活動についていったというような形になっておりますが、ただ、いろいろな活動をしていく中でやっぱり考えてきたこともいろいろできましたので、そこはまた新たなメンバーの皆さんと一緒に、そこを生かして、今期につきましては積極的に意見を出していきたいなと思っております。以上です。

笹井議長 ありがとうございます。ぜひ今期は遠慮なさらずにお願いしたいと思います。

よろしいでしょうか。こんな形で、前期は、このような活動をされたということでもあります。

それでは次に行きたいと思いますが、議題の8番目になります。「会議録の承認」でございますが、事務局から御説明をお願いいたします。

倉澤生涯学習係長 事務局より御説明いたします。資料8を御覧ください。字が小さくて申し訳ございません。

こちらは社会教育委員の会議の会議録ですが、通常の流れとしま

して、会議終了後に文字起こしをしたものを委員の皆様にもメールで送信しまして、それぞれ御自身の発言について校正をしていただいたものを次の会議の議題として承認をしていただいてから、会議録の公開、ホームページ等への掲載という流れになっております。

今回は8月に開催した第4回の会議録について31期の委員の皆さまに確認いただいたものを本日、御承認いただければと思います、議題に取り上げさせていただきます。よろしく願いいたします。

笹井議長 今の件につきましても、もし第31期の委員だった方で、何か補足がありましたら、お願いできればと思いますが、いかがですか。よろしいでしょうか。

 毎回、こういう形でやるということですね。

倉澤生涯学習係長 はい。

笹井議長 これはデータそのものはオープンに公表されるということですので。

三浦生涯学習課長 議長、補足で。会議録でございますけれども、今、事務局が御説明しましたとおり、会議が終わりまして、ドラフトが上がりましたら、皆様のところにもメールベースで校正の確認をお願いさせていただきます。次回の会議で承認をいただければ、ホームページ等々で、皆様の発言が一言一句、このままアップされる形になりますので、御理解方、お願いいたします。

 なお、会議録の校正の中で、ちょっとあの発言は間違っちゃったなというところがありましたら、次回の会議で御発言をいただいて、発言の訂正をしたいという趣旨でおっしゃっていただければ、それに基づいて措置をしていく形になりますので、校正の段階では発言を間違っちゃったから消すことはあまりしないようにしたいと思ってございます。御理解方、よろしく願いいたします。

 私からは以上でございます。

笹井議長 自治体によっては要旨を出す自治体もあるし、名前を消して出す自治体もありますけれども、ここが一番厳しいですね。自分の発言は

自分で責任を負いなさいみたいな感じで。そういうことで、ぜひよろしくお願ひしたいと思います。

それでは議題の9番目になりますが、会議日程につきまして、事務局から御説明をお願ひしたいと思います。

倉澤生涯学習係長 事務局より御説明いたします。資料9を御覧ください。

こちらは令和5年度の残りの会議等の日程について載せております。11月11日、12月9日の内容につきましては、都市社連協関連の研修会でございますので、もう日程が決定しているものです。

今年度の本日のような会議につきましては、本日を除いて、あと3回、11月、1月、2月に開催を予定しております。11月につきましては、日が迫っていることもあり、会議室等の確保の関係もあるため、仮に11月16日という形で取らせていただいているところです。

基本的に日程等につきましては事務局に一任していただきたいと考えておりますが、委員の皆様の中で、この曜日は絶対に毎回、出席できない等々がございましたら、そちらを考慮させて決めさせていただきたいと思ひますので、この場で伺えればと思ひます。

説明は以上です。

笹井議長

ありがとうございました。

今現在、資料9のように予定として日程が決まっているということですけども、今の時点で、これはちょっと個人的に無理だ、出席できないということがあれば教えていただきたいと思ひますが、いかがでしょうか。

小林委員

個人的事情ですが、すみません。小林です。実は来年の7月ぐらいに小金井に戻って来るんですけど、今、単身赴任中で。今日もちょっと戻って来ている状況なんですけど。そうすると、何となく金曜日とか月曜日のほうが個人的には助かるのはあるんですけども、皆さんの御都合もあるので、そういった場合、例えばですけども、前、児童館審議委員をやらせていただいたときは、実はリモートをWebexでやっていただいたこともございまして、その辺、可能であれば出席率も上がるかなと思ひているんですけど。なるべ

くリアルで出るようにはしたいなと思っておりまして、リアルでしたら金曜とか月曜がいいんですが、ちょっと先生の御都合とかもあると思いますし、その辺は都合のいいところで折り合いたいと思っています。よろしく願いいたします。

笹井議長 要するにハイブリッドという形になってもらえればと。

小林委員 はい。ハイブリッドが許されるのかをぜひ御検討いただければと思います。

笹井議長 課長、その辺は何かありますか。

三浦生涯学習課長 生涯学習課長です。まず市全体のルールですと、ハイブリッドでやるという決め事がなくて、どこかの会議でやっていたとは耳にするところなんですけど、今日この場でというのもなかなか難しいところではあるんですが、対応できることであれば頑張ってみたいなと思うんですが、今日この場では。

小林委員 ええ。単なる要望ですので、御検討いただいて無理なら無理と言っていたらいいと思います。

三浦生涯学習課長 ありがとうございます。

小林委員 来年7月になったら、多分、解消すると思うんですけど。そういったところで、すみません。

三浦生涯学習課長 はい。ですので、会議の形態としては、今日、そういう御要望があったところで受け止めさせていただきます。

笹井議長 ありがとうございます。ほかに日程等に関連して、ほかの委員の皆さんから、この曜日は絶対駄目だからというのがありましたらお聞きしたいと思います。いかがですか。よろしいですか。

伊藤委員 すみません。伊藤です。火曜日がちょっと動けない日がありまして、あとは午前中は大丈夫なんですけども、火曜日の午前中はちょ

っと難しい日があります。

笹井議長 午後は大丈夫ということですか。

伊藤委員 火曜は終日、駄目なんですけど。

笹井議長 分かりました。

ありがとうございます。

ということで、日程は、これだけの人数でありますから、全員がそろう日はもともと難しいのかなとは思いますが、適宜、日程調整するときの参考にしていただきたいと思います。

それでは、協議事項の10番目、「その他」とあるんですが、これにつままして何か。はい、どうぞ。

坂野委員 坂野でございます。申し訳ないですが、話を戻して3番の「図書館協議会への出向委員の選任について」ですが、私が立候補をしたいと思えます。私は以前、図書館協議会委員をやってしまして、社会教育委員の会議の議事録をずっと見てきたんですけども、図書館協議会での議論のプロセスで重要なものがそこではほとんど報告されてないことをずっと残念に思っておりまして、もしそれを改善するチャンスがあればということで、図書館協議会委員として出てみようかなと思う次第です。

ですが、私は、今回、社会教育委員は初めてなので、できれば2期目以上の方々に出ていただくのが一番適任かと思えますので、立候補はしますけれども、そういう観点から、2期目以上の方々、いかがでしょうかと。きちんと報告していただければよろしいかと思えます。以上です。

笹井議長 分かりました。ということで、事務局で調整をしていただきたいと思います。

三浦生涯学習課長 生涯学習課長です。議題の3番でございまして、今、そういう御意見があつて、2期目以上の方とお話をさせていただきますので、御意向は分かりました。私のほうで対応させていただきたいと思います。

笹井議長 ありがとうございます。
 そのほかに何かございますでしょうか。はい、北澤委員。

北澤委員 北澤です。それで次回の日程を決めていただきたいと思いますけども、
 よろしく願いいたします。

倉澤生涯学習係長 事務局です。次回の日程を本日決めていただきたいと思います。
 私のほうで仮と入れさせていただいている、こちらの11月16日
 木曜日、午前10時からという日程で開催させていただきたいと思
 うのですが、いかがでしょうか。

笹井議長 よろしいですか。

倉澤生涯学習係長 では、こちらで決定させていただきます。本日の次第の一番下
 の次回日程のところ各自に入れていただければと思います。また
 開催通知等は追って皆様に送付させていただきますので、どうぞよ
 ろしく願いいたします。

笹井議長 よろしく願いいたします。
 そのほかの議題、もしくは今日全体の議題について、もし何かあ
 りましたらいただければと思いますが、いかがでしょうか。よろし
 いでしょうか。
 それでは協議事項はこの辺にさせていただいて、続きまして報告
 事項に移りたいと思います。「第37期公民館運営審議会委員の委
 嘱について」でございます。よろしく願いいたします。

倉澤生涯学習係長 事務局より御説明いたします。資料10、一番最後のページを
 御覧ください。

 資料10として、第37期小金井市公民館運営審議会委員の名簿
 を付けさせていただいております。任期は社会教育委員と同じ任期
 となっております。今後、3者合同研修会等で、こちらの委員の
 方々と顔を合わせる機会もございますので、参考にさせていただけれ
 ばと思います。

 説明は以上です。

笹井議長 ありがとうございます。
では、最後になります、その他の報告事項で何かございますでしょうか。

三浦生涯学習課長 生涯学習課長です。事務局からは特にございませぬ。

笹井議長 ということで、大体1時間ぐらいですね。早過ぎたかな。
どうぞ。

小林委員 小林です。生涯学習推進計画は今、4次になっているんですけど、5次の検討はいつ頃から始まるんでしょうか。かつ我々社会教育委員のいわゆる関与の仕方というか、それはどうなっているのかを教えてくださいましたら助かります。

三浦生涯学習課長 生涯学習課長です。たしか7年度までの計画だと考えておりますので、通常ですと、その1年前ぐらいから検討していくことになると思います。一応、計画は進んでまいりますので、7年ですから、7年度末までの計画なので、早ければ来年度から進めていくのかなと思いますけど、まだ具体的には決まっております。

小林委員 いえいえ。大体の工程というか、スケジュール感が分かればいいので。ありがとうございます。

笹井議長 何かほかにございますか。

小林委員 すみません。あともう一つ。小林です。
研修会の担当だということで、例の3者の。あれはどういう感じで進めていく感じになるんでしょうか。

三浦生涯学習課長 3者合同のですね。

小林委員 はい。さっき予算がないと言っていたやつですけども。

倉澤生涯学習係長 前回の例で言いますと、図書館協議会さんが担当となっていてら

っしやいまして、そのときは議長に御講演をいただいて、その後、それぞれに3者が入るようなグループに分けて、生涯学習に関するテーマを決めて、それについて話し合っていて、グループで発表していただく形を取っております。今回も全会議体で委員が改選になっており、初めての方も多くございますので、そういった形を考えておりますが、また御相談させていただきたいと思っております。

小林委員 ありがとうございます。

笹井議長 ということで、所定の検討事項は全部終わりましたので、この辺で今日の会議は終わりにしたいと思います。

 どうも皆さん、御協力、ありがとうございました。どうぞ今後もよろしくお願いします。

— 了 —